



君の
コン

今日も視界良好

vol.018

⑤ 老舗企業2社の取り組みとマラソンとの共通点 中小企業診断士 長尾 康行

こんにちは、フラッグシップ経営代表 中小企業診断士の長尾です。昨日は非常に勢力の強い台風24号が日本列島を縦断することによって自宅待機しておりました。幸い、大阪は大きな被害が出なかったのですが、他の地域では21号の時と同様に大きな被害が出ている模様です。被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。皆様の安全と、一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、10月に入りました。10月は9月決算の会社であれば新しい期の始まりであり、3月決算であれば折り返しとなる時期です。会社も一人の人間と同様に1年先の目標に向かって日々頑張るといえるのは簡単なようで難しいことです。そのため、月次や半期、四半期など定期的に現在地を確認することが重要ではないかと思うのです。マラソンでも42.195kmを走り切る前に中間地点や給水ポイントなど現在地を回る目安がありますが、経営にもそれがあるといって結果に大きく差が出ると思うのです。

実は一昨日の9/29(土)に2社の全社会議に参加させていただきました。1社目は61期目の建築業の企業様、2社目は創業100年以上で法人としては72期目の内装卸業の企業様です。どちらも従業員20名前後の中小企業ですが、前期の振り返りに始まり今期の予算や経営方針などを発表しました。全社員が共有すること、現在値や力量、進むべき方向を確認することで意識のすり合わせを行います。この2社に共有していることは全社レベルで情報を共有する場があることだけではありません。月次レベルで予算と実績を確認していますし、各個人や各営業所に定めた目標やアクションプランの進捗管理も毎月行っています。また、財務状態が良好なのですが細かな経費意識も持っています。他にもたくさんありますが、どれも難しいことを行っているのではなく、当たり前のことを当たり前に毎月続けているだけなのです。毎月もしくは半期で進捗確認を行うことは1年先の目標に近づくために必要なことであり、マラソンの中間地点でタイムを確認することと同じです。時計も持たず、中間地点のタイムも分からず、42.195kmを走り切らなければ結果が分からないのであればペース配分や改善すべきポイントも分からないでしょう。



この2社は60年、70年の歴史を積み重ねている企業であります。経営における原理原則を丁寧に積み重ねて強い財務基盤を形成しています。経営もマラソンも目標を定め、途中経過を確認しながら目標達成を行う点では同じです。もし、目標も途中経過の確認もないならば、ただ走っているだけということになります。目標や目的もなくただ走り続けることはいつまでもできません。必ず息切れやモチベーションの低下を招くからです。今回ご紹介した2社の取り組みは多くの中小企業に見習っていただきたいと改めて感じました。



⑥ BCP（事業継続計画）をご存じですか？ コンサルタント 住吉 かずみ

こんにちは、コンサルタントの住吉です。ここ数カ月のニュースレターを振り返ると、いずれも気象の話題からスタートしていますが、先週末も台風24号が通過し、来週も25号が来るかも知れない？という状況ですね。私の実家は以前の台風で屋根の瓦が1枚剥がれてしまいましたが、これくらいの被害であれば幸いだったと思います。台風通過後も、土砂崩れなどの危険性は残っていますので、皆様くれぐれもお気をつけください。また、皆様のご自宅には防災グッズや保存食の備蓄はありますか？私も、災害の備えを日頃からしておかなければいけないと頭では分かっているが、なかなか実行に移せていなかったのですが、ようやく先日、Amazonで防災グッズと保存水を購入しました。

ところで、企業においても当然ながら自然災害におけるリスクマネジメントが必要です。また、自然災害に限らず、事故、火災、システム障害や情報漏洩といった人為的な事故など、様々なリスクマネジメントが求められます。これらが発生した際に、業務が中断・停止することを防ぎ、事業を継続させるための行動計画「BCP（事業継続計画）」と、その運用におけるマネジメントシステム「BCM（事業継続マネジメント）」の構築が企業に求められていますが、皆様の企業ではこれらを策定・運用されていますか？

中小企業庁のHPに「中小企業BCP策定運用指針」というものが定められています。これは、中小企業へのBCPの普及を促進することを目的として作られたもので、中小企業向けに具体的な運用方法が紹介されています。中小企業や小規模事業者においては、災害発生による被害や損失によって、事業停止や事業撤退に陥ってしまう場合も決して少なくはありません。ご紹介したHP上には、支援機関の紹介や他社の取り組み事例、国の支援策等も紹介されていますので、ぜひ一度ご確認ください。



⑦ 事業再生のスペシャリスト「ターンアラウンドマネージャー」取得

2018年9月13日に一般社団法人金融検定協会が主催する「ターンアラウンドマネージャー」の認定試験に合格しました。ターンアラウンドマネージャーとは財務体質や業績の悪化に苦しむ企業の実質的な経営者として経営再建を行う職位のことを言います。3年の間に経営改善を行い、会社を建て直してから元の経営者に経営権を戻します。私は経営改善や事業再生に関する知識は持ち合わせていますが、コーチングや組織の活性化について学びたかったので、夏の間勉強と研修を繰り返してきました。おかげさまで試験もクリアし、認定を受けることができました。今後も時間を見つけてはあらゆる分野において勉強していきたいと考えています。(長尾 康行)



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-8-2 三晃ビル2階

TEL：0120-34-8776

FAX：06-7635-8214

MAIL：info@flagship-keiei.co.jp

URL：www.flagship-keiei.co.jp



株式会社フラッグシップ経営 Facebook ページ

いいね！ お待ちしております。



株式会社フラッグシップ経営 Twitter

@flagship_keiei にて随時情報発信中！

